

Title	小野一一郎教授・略歴・著作目録 (小野一一郎教授記念 號)
Author(s)	
Citation	經濟論叢 (1988), 142(4): 491-502
Issue Date	1988-10
URL	http://dx.doi.org/10.14989/134264
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

經濟論叢

第 142 卷 第 4 号

小野一一郎教授記念號

献 辞	尾 崎 芳 治	
スーザン・ストレンジの国際通貨論(1)	本 山 美 彦	1
多国籍企業とカリブ海タックス・ヘイヴン	中 村 雅 秀	25
世界システム論的視角からみた対外債務問題: とくに世界債務危機の循環性について	田 口 信 夫	47
1920年代における日本の対「満州」関税政策	松 野 周 治	71
在外子会社の資金調達と資本過剰論	向 壽 一	91
国際収支と国際分業	羽 鳥 敬 彦	123
リカード貿易論を中心とする諸理論の再検討	板 木 雅 彦	142
明治後期の日本貿易の発展	奥 和 義	160

小野一一郎 教授 略歴・著作目録

昭和 63 年 10 月

京 都 大 学 經 濟 學 會

小野一一郎 教授 略歴

- 1925 (大正14) 年10月10日 洋画家小野藤一郎、トミの長男として大阪府 (大阪市南区田島町24番地) に生まれる。
- 1938 (昭和13) 年 3 月 大阪市立桃園第一尋常小学校卒業
4 月 大阪府立高津中学校入学
- 1942 (昭和17) 年 3 月 同校第4 学年終了
4 月 高知高等学校文科乙類入学
- 1945 (昭和20) 年 3 月 同校卒業
4 月 京都帝国大学経済学部入学
(この間、1944年12月5日香8116部隊独立歩兵第69大隊第1中隊入隊、中国大陸派遣。1946年2月7日、本土帰還)
- 1949 (昭和24) 年 3 月 京都大学経済学部卒業
4 月 大阪銀行 (現住友銀行) 入行
11月 同行依願退職
同月 大阪市研究員、大阪市立大学経済研究所勤務
- 1950 (昭和25) 年10月 教員適格判定 (大阪市立大学教員適格審査委員会)
- 1951 (昭和26) 年 4 月 同所依願退職
同月 京都大学経済学部助手
11月 宝光井宣代と結婚
- 1952 (昭和27) 年 9 月 長女曜子出生
- 1954 (昭和29) 年 3 月 京都大学経済学部講師
4 月 次女育子出生
- 1956 (昭和31) 年19月 長男憲一出生
- 1957 (昭和32) 年11月 京都大学経済学部助教授
- 1961 (昭和36) 年11月 1961年度毎日新聞学術奨励金受賞 (「近代日本貿易史の研究」研究代表者松井清)
- 1970 (昭和45) 年 5 月 京都大学経済学部教授
- 1971 (昭和46) 年 1 月 京都大学附属図書館商議会議議員 (同年6月まで)
- 1972 (昭和47) 年10月 京都商工会議所商業活動調整協議会委員 (現在に至る)
11月 1972年度毎日新聞学術奨励金受賞 (「帝国主義の形成過程とアジア経済」研究代表者小野一一郎)
- 同月 京都府総合開発審議会委員 (1985年5月まで)

1973 (昭和48) 年 4 月	京都大学評議員 (1975年 3 月まで)
1974 (昭和49) 年 1 月	京都大学経済学部長 (1975年 1 月まで)
10月	京都府国土利用計画地方審議会委員 (1985年 5 月まで)
	京都府舞鶴港港湾審議会委員 (1987年 9 月まで)
1975 (昭和50) 年 3 月	文部省在外研究員として英国ロンドン大学に留学 (1976年 3 月まで)
1977 (昭和52) 年 6 月	京都大学附属図書館商議会商議員 (1979年 5 月まで)
1979 (昭和54) 年 8 月	奈良県大規模小売店舗審議会委員 (現在に至る)
1980 (昭和55) 年 1 月	京都大学附属図書館商議会商議員 (1981年 5 月まで)
1983 (昭和58) 年 7 月	奈良国際文化観光都市建設審議会委員 (現在に至る)
1984 (昭和59) 年 6 月	奈良清掃業務審議会委員 (1988年 5 月まで)
1986 (昭和61) 年 7 月	英国出張 (ロンドンにおける外国人移民の調査, 同月末まで)

上記期間中 (1955年以降), つぎの諸大学より非常勤講師を委嘱され, 国際金融論・国際経済学・世界経済論等を担当した。

関西大学商学部, 大阪市立大学商学部, 華頂短期大学, 関西学院大学経済学部, 高知大学文理学部, 金沢大学法学部, 愛媛大学文理学部, 奈良女子大学, 東北大学経済学部, 立命館大学経済学部, 龍谷大学経営学部, 奈良県立短期大学, 名古屋大学大学院法学研究科, 神戸大学大学院経済研究科, 滋賀大学経済学部, 鹿児島大学法学部, 福岡大学商学部, 京都大学教養部, 京都大学教育学部, 京都大学法学部。

所属学会

国際経済学会 (常任理事), 信用理論学会, 国際経済研究会, 日本流通学会 (理事)

小野一一郎 教授 著作目録

著書と編著書

ブラジル移民実態調査	有斐閣	1955年9月
世界経済と帝国主義〔松井清教授還暦記念論文集〕（行沢健三，吉信 肅共編）	有斐閣	1973年5月
南北問題入門（吉信 肅共編）	有斐閣	1979年2月
戦間期のアジアと日本（吉信 肅共編）	大月書店	1979年12月
（編）南北問題の経済学	同文館出版	1981年6月
（編）戦間期の日本帝国主義	世界思想社	1985年10月

論文

最近における貨幣信用論	大阪市立大学経済研究所編『社会科学文献解説』No. 8	1951年9月
ポンドの過剰とドル不足—我国国際収支の一考察—	経済論叢 第70巻第5号	1952年11月
リカード貨幣信用論の一考察—その近代的展開への展望を含めて—	経済論叢 第70巻第6号	1952年12月
わが国のドル・バランス—その構造と矛盾—	経済評論 第2巻第2号	1953年2月
我国中央銀行行政史の一駒—金解禁を中心として—	経済論叢 第71巻第4号	1953年9月
銀行学派のメカニズム	経済論叢 第72巻第3号	1953年9月
従属下貿易の構造	井上晴丸責任編集『日本資本主義講座第5巻』岩波書店	1953年12月
わが国のダンピング問題	経済評論 第3巻第1号	1954年1月
日本鉄鋼業の成立と原料問題（難波平太郎共著）	経済論叢 第73巻第4号	1954年4月
日本の関税問題	経済評論 第3巻第5号	1954年5月
日本鉄鋼業の成立と対外投資—日本鉄鋼業の成立と原料問題(2)—（難波平太郎共著）	経済論叢 第74巻第3号	1954年9月
資本輸出	島恭彦，松井清，内田穠吉，遊部久蔵，宇佐美誠次郎，宇高基輔，長洲一二編『経済学講座Ⅲ—現代資本主義の経済と政治2—』大月書店	1954年10月

為替相場	『同書』大月書店	1954年10月
歴史的に見た関税制度—その推移と特質—	貿易と関税 第3巻第3号	1955年3月
日本鉄鋼業の成立と資源—日本鉄鋼業の成立と原料問題(3)—(難波平太郎共著)	経済論叢 第75巻第5号	1955年5月
日本貿易の現状 (§1 総説 §2 貿易品構成と産業構造, §5 貿易と貿易金融)	松井清編『日本貿易読本』東洋経済新報社	1955年8月
貿易統計の見方	『同上書』東洋経済新報社	1955年8月
国際収支統計の見方	『同上書』東洋経済新報社	1955年8月
日本の移民問題(前田昇三共著)	経済評論 第4巻第12号	1955年12月
国際金融—貨幣制度の国際的関連を中心として—	信用理論研究会編『講座信用理論体系Ⅲ』日本評論社	1956年5月
経済発展と社会体制(山本登共著)	アジア協会編『後進国開発の理論』日刊工業新聞社	1956年9月
ドップ後進国発展理論の位置(訳者あとがき)	『後進国の経済発展と経済機構』有斐閣	1956年11月
後進国開発問題の一視角	経済評論 第5巻第12号	1956年12月
マルクス主義後進国発展論の一類型	松井清編『後進国開発理論の研究』有斐閣	1957年3月
後進国における経済発展—国連報告の紹介と検討—	世界経済評論 第36号	1957年4月
後進国開発理論—対決する2つの経済学—	エコノミスト 第35巻第33号 (エコノミスト編集部編『対決する2つの経済学』1958年2月刊に再録)	1957年8月17日
日本におけるメキシコドルの流入とその功罪(1)	経済論叢 第81巻第3号	1958年3月
日本におけるメキシコドルの流入とその功罪(2)	経済論叢 第81巻第4号	1958年4月
日本におけるメキシコドルの流入とその功罪(3)	経済論叢 第81巻第5号	1958年5月
日本におけるメキシコドルの流入とその功罪(完)	経済論叢 第81巻第6号	1958年6月
日本の移民問題	国際移住 第1号	1958年12月
後進国開発理論の検討(上・中・下)	貿易と関税 第7巻第1～3号	1959年1～3月
東亜におけるメキシコドルをめぐる角逐とその本質	経済論叢 第83巻第1号	1959年1月
近代的貨幣制度の成立とその性格	松井清編『近代日本貿易史第1巻』(京都大学総合経済研究所研究叢書12) 有斐閣	1959年4月

メキシコドルの終焉に関する鬼頭教授の遺稿について	京都大学経済学部編『京都大学経済学部創立40周年記念経済学論集』有斐閣	1959年7月
日本における外資の形態と現状	エコノミスト 第38巻第21号	1960年5月24日
自由化と外資問題	松井清編『貿易・為替の自由化』三一書房	1960年6月
日本紡績業におけるインド綿手当の必然性	『日印綿業交渉史』アジア経済研究所(アジア経済研究シリーズ第3集)	1960年11月
インド紡績業の発展と日本におけるインド綿化の地位	『同上書』	1960年11月
戦後の貿易政策	松井清編『新版日本貿易読本』東洋経済新報社	1961年9月
日本資本主義と原料問題	経 済 評 論 第10巻第10号	1961年9月
高度成長と中小企業	労働月報(京都)第161号	1961年11月
東亜におけるメキシコドル終焉の過程	経 済 論 叢 第89巻第4号	1962年4月
戦後の移民問題	経 済 評 論 第11巻第5号	1962年5月
東亜におけるメキシコドル終焉の論理	経 済 論 叢 第90巻第3号	1962年9月
貿易自由化と中小企業	労働月報(京都)第174号	1962年12月
金解禁の動因について一野呂栄太郎の金解禁論をめぐって一	松井清編『近代日本貿易史第3巻』(京都大学総合経済研究所研究叢書15)有斐閣	1963年6月
日本における金本位制の成立(1)	経 済 論 叢 第92巻第3号	1963年9月
日本における金本位制の成立(2)	経 済 論 叢 第92巻第5号	1963年11月
日本の輸出構造と世界市場	経 済 評 論 第13巻第1号	1964年1月
国際競争力の構造と課題	企業法研究 第108輯	1964年5月
日清戦争賠償金の領収と幣制改革—日本における金本位制の成立(3)—	経 済 論 叢 第94巻第3号	1964年9月
添田プランと高橋意見書—明治30年貨幣法案の準備過程—	経 済 論 叢 第94巻第5号(豊崎稔教授記念号)	1964年11月
日本貿易の拡大過程とその背景	経 済 評 論 第14巻第5号	1965年5月
現代資本主義と資本輸出	川口弘・川合一郎編『金融論講座IV—国際金融と国際通貨機構—』有斐閣	1965年5月
日韓会談と労働問題	季刊労働と経済 第5号	1965年6月
現段階における輸出拡大の可能性	企業法研究 第124輯	1965年9月
ポンド危機の性格	税務セミナー 第10巻第10号	1965年9月
金輸出継続の論理(1917-1919)(1)—対外投資の変化に関連して—	経 済 論 叢 第98巻第1号	1966年7月

資本輸出—その動因—	宇佐美誠次郎, 宇高基輔, 島 恭彦編『マルクス経済学体系 Ⅲ』有斐閣	1966年9月
資本自由化の動向と性格—資本自由化 の持つ意味—	税務セミナー 第11巻第11号	1966年10月
資本輸出—その動因—国際経済研究会 シンポジウム基調報告2, 「資本輸 出」の諸問題	世界経済評論 第11巻第3号	1967年3月
沖縄におけるドルの切替えをめぐる論 争について(1)	経 済 論 叢 第99巻第4号	1967年4月
沖縄におけるドルの切替えをめぐる論 争について(2)	経 済 論 叢 第100巻第4号	1967年10月
沖縄における日本円の消滅—B円軍票 のメカニズム—	経 済 論 叢 第102巻第1号	1968年7月
国際経済の動向とわが国経済	税 務 通 信 第23巻第8号	1968年7月
第一次大戦前後の外国貿易	川合一郎, 木下悦二, 神野瑤 一郎, 狭間源三編『講座日本 資本主義発達史論第2巻』日 本評論社	1968年11月
貿易政策	松井清編『日本貿易読本(改 訂)』東洋経済新報社	1969年4月
中南米市場の将来	日本地域開発センター編『国 際分業と日本経済』(『日本列 島の将来像』上巻)至誠堂	1969年6月
第二次大戦後における日本の対外投資	松井清編『資本の自由化』有 信堂	1970年5月
発展途上国の経済像—民族解放と経済 建設—	杉原四郎, 尾上久雄, 直塩信 雄編『経済像の歴史と現代』 有斐閣	1970年9月
第二次大戦後における日本の対外投資 円切上げと労働者	証券経済学会年報 第6号 季刊労働と経済 第29号	1971年4月 1971年6月
国際金融の問題と経済のブロック化	税 経 通 信 第27巻第1号	1972年1月
沖縄におけるドル切替え その政策内 容—	経 済 論 叢 第109巻第3号 (山岡亮一教授記念号)	1972年3月
日本帝国主義と移民論—日露戦後の移 民論—	小野——一郎, 行沢健三, 吉信 肅編『世界経済と帝国主義(松 井清教授還暦記念論文集)』有 斐閣	1973年5月
貿易政策(小松勇吉共著)	松井清編『日本貿易読本』東 洋経済新報社	1973年7月
戦後日本資本主義と外国貿易	島恭彦, 宇高基輔, 大橋隆憲, 宇佐美誠二郎編『新マルクス 経済学講座第5巻—戦後日本 資本主義の構造—』有斐閣	1976年11月

移民現象にあらわれた帝国主義—旧植民地圏への日本移民—	歴史公論通巻38号(5巻1号)	1979年1月
発展途上国と人口問題	小野一郎, 吉信肅編『南北問題入門』有斐閣	1979年3月
第1次大戦後の植民政策論	小野一郎, 吉野肅編『両大戦間期のアジアと日本』大月書店	1979年12月
明治末期の物価騰貴—戸田海市の所説をめぐって—	オイコノミカ 第18巻第1号	1981年6月
外向型発展理論の検討—ラ・ミントの場合—	小野一郎編『南北問題の経済学』同文館出版	1981年6月
川合一郎初期著作集解説	『川合一郎著作集第一巻』有斐閣	1982年2月
対外政策構想の転変	小野一郎『戦間期の日本帝国主義』世界思想社	1985年10月
日本の貿易雑誌(細川元雄共著)	杉原四郎編『日本の経済雑誌』有斐閣	近 刊

欧 文 論 文

"The growth of iron and steel industry in Japan and the problems of raw materials (1)", (難波平太郎共著).	<i>Kyoto University Economic Review</i> , Vol. 25, No. 1	Apr., 1955.
"The growth of iron and steel industry in Japan and the problems of raw materials (2)", (難波平太郎共著).	<i>Kyoto University Economic Review</i> , Vol. 25, No. 2	Oct., 1955.
"The Problem of Japanese emigration".	<i>Kyoto University Economic Review</i> , Vol. 28, No. 1	Apr., 1958.
"Japanese capitalism and foreign trade 1945-1970 (1)-Japanese trade under the fixed exchange rate system".	<i>Kyoto University Economic Review</i> , Vol. 47, No. 1/2	Apr./Oct., 1977.
"Japanese capitalism and foreign trade 1945-1970 (2)-Japanese trade under the fixed exchange rate system".	<i>Kyoto University Economic Review</i> , Vol. 48, No. 1/2	Apr./Oct., 1978.

辞 典

大阪市立大学経済研究所編『経済学小辞典』資本輸出	岩波書店	1951年6月
京都大学文学部国史研究室編『日本近代史辞典』 為替統制, 金解禁, 輸出禁止, 公定価格, 国策会社, ソーシャル・ダンピング, 拓植会社, 特殊会社, 貿易省設置問題, 輸出入リンク制 (日本近代史辞典編集委員会編『日本近代史辞典』1978年4月に再録)	東洋経済新報社	1958年11月

- 大阪市立大学経済研究所編『経済学辞典』貿易政策, メキシココードル, プラント輸出 岩 波 書 店 1965年9月
- 社会科学辞典編集委員会編『社会科学辞典』移民 新 日 本 出 版 1967年11月
- 社会科学大事典編集委員会編『社会科学大事典第6巻』ケメラー 鹿島研究所出版会 1969年2月
- 経済学辞典編集委員会編『大月経済学辞典』貿易政策, 貿易の統制, 新重商主義論, 近隣窮乏化政策, 協定貿易, 輸出入リンク制 大 月 書 店 1979年4月
- 大阪市立大学経済研究所編『経済学辞典(第2版)』貿易政策, 貿易(各国)6, 日本, メキシココードル, プラント輸出 岩 波 書 店 1979年6月

翻 訳

- M. ドップ『後進国の経済発展と経済機構』(京都大学総合経済研究所研究叢書2) 有 斐 閣 1956年11月
- A. I. ブルームフィールド『金本位制と国際金融 1880-1914年』(小林龍馬共訳) 日 本 評 論 社 1975年6月

書評と紹介

- 池田勇人『均衡財政』実業之日本社 エコノミスト 第30巻第33号 1952年11月8日
- 松井清『日本の貿易』岩波書店 国 際 経 済 第6号 1955年5月
- M. ドップ経済発展に関する諸考察 国際経済学会編『後進国の経済発展』(国際経済第7号) 1955年10月
- 吉村正晴『日本貿易政策』新評論社 京都大学『学園新聞』845号 1956年8月11日
- 大阪市立大学経済研究所『中国とインドの経済発展—五ヵ年計画の比較研究』 ア ジ ア 問 題 第7巻第4号 1957年10月
- The Institute for Economic Research, Osaka City University: The Economic Development in China and India. Asian Affairs, Vol. 2, No. 4 Dec., 1957.
- 行沢健三『国際経済学序説』ミネルヴァ書房 関西学院新聞 第357号 1958年1月15日
- 同 書 図 書 新 聞 第442号 1958年3月22日
- 国際貿易1956年——ガット年次報告(GATT International Trade 1956) 日本国際連合協会京都国連寄託図書館『国連資料』No. 4 1958年4月

- アジア極東における小農にたいする信用の諸問題 (ECAFE, Credit Problems of Small Farmers in Asia & Far East, 1957) 日本国際連合協会京都国連寄託図書館『国連資料』No. 4 1953年4月
- 工業化と生産性第1集(U. N., Industrialization and Productivity Bulletin 1, 1958) 日本国際連合協会京都国連寄託図書館『国連資料』No. 5 1958年7月
- 行沢健三『国際経済学序説』ミネルヴァ書房 国際経済学会編『日本貿易の構造と展開』(『国際経済』第10号) 1958年10月
- ヨーロッパ経済報告 (Economic Bulletin for Europe Vol. X, No. 2, 1958) 日本国際連合協会京都国連寄託図書館『国連資料』No. 7 1959年1月
- 吉村正晴『貿易問題』岩波書店 経 済 評 論 第8巻第4号 1959年4月
- エジプト、イスラエルおよびトルコにおける製造工業の発展 (U. N., The Development of Manufacturing Industry in Egypt, Israel and Turkey) 日本国際連合協会京都国連寄託図書館『国連資料』No. 8 1959年5月
- ヨーロッパ経済概観 (1958年) (Economic Survey of Europe in 1958, 1959) 日本国際連合協会京都国連寄託図書館『国連資料』No. 9 1959年8月
- 工業化と生産性第2集 (U. N., Industrialization and Productivity Bulletin 2, 1959) 日本国際連合協会京都国連寄託図書館『国連資料』No. 9 1959年8月
- 国際移民の経済的 性格——移民統計 (U. N., Economic Characteristics of International Migrants: Statistics for Selected Countries, 1918-1954, 1958) 日本国際連合協会京都国連寄託図書館『国連資料』No. 10 1959年11月
- 小谷義次『国家資本輸出論』東洋経済新報社 経 済 評 論 第9巻第7号 1960年6月
- 堀江薫雄『国際金融』東大出版会 京都大学『学園新聞』 1960年12月25日
- 内田穠吉『戦後日本独占資本主義史論』日本評論社 京都大学『学園新聞』 1961年5月29日
- 長洲一二『資本主義の新時代』河出書房 産 経 新 聞 1962年4月12日
- Kiyoshi Matsui, ed., A Modern History of Japanese Foreign Trade, 3 vols. Yuhikaku, 1959-1963. 1104p. The Developing Economics Vol. 2, No. 3 Sept., 1964.
- 花原二郎『現代日本貿易論』青木書店 読 書 の 友 第358号 1970年1月19日
- 円切り上げ問題——花原二郎『円・ドル問題と日本経済』, 経済企画庁編『世界のインフレーション』 季刊労働と経済 第32号 1972年3月
- 東畑精一監修, 山本登綱『アジアの貿易』東洋経済新報社 エコノミスト 第49巻第30号 1971年7月27日

泉美之松, 野坂昭如『正談』東京教育情
報センター

税経通信 第39巻第11号

1984年10月

調 査

「日本労働組合評議会史年表」

谷口善太郎『日本労働組合評
議会史』下巻 高桐書院

1948年12月

「豊崎稔教授著作目録」豊崎稔教授還
暦記念事業委員会『現代資本主義の
研究——豊崎稔教授還暦記念論文集
——』

日本評論社

1962年8月

「大上末広の略歴と著作目録につい
て」(松野周治共著)

経 済 論 叢 第119巻第3号

1977年3月

「安秉珪略歴と著作目録」安秉珪『朝
鮮社会の構造と日本帝国主義』

龍 溪 書 舎

1977年10月

そ の 他

〈貿易〉増大する不均衡—ドル・ポン
トの相殺見通し難

京都大学『学園新聞』

1952年4月14日

黄変米異変

島恭彦, 松井清, 内田稷吉,
遊部久蔵, 宇佐美誠次郎, 宇
高基輔, 長洲一二編『経済学
講座Ⅲ—現代資本主義の経済
と政治 2—』月報2, 大月書
店

1954年9月

日本のガット加入(都論壇)

『都新聞』

1955年8月23日

国民生活の窮乏を強化—賠償のもたら
す日本経済—

『同志社学園新聞』

1955年9月21日

日本の対外問題—2—東南ア

京都大学『学園新聞』

1956年9月17日

日本資本主義の方向

京都大学『学園新聞』

1957年6月17日

下期外貨予算と貿易の見通し

『産業倶楽部』第11巻第10号

1957年10月

年頭雑感

日本写真印刷(株)社内報『理想
旗』第59号

1959年1月

移民行政への期待

日伯協会『ブラジル』第59号

1959年1月

学会第一線—木下悦二

エコノミスト 第37巻第14号

1959年4月7日

国際経済学の学習姿勢と方法

『経済学学習はんど・ぶっく』
(『経済セミナー』付録)

1959年5月

貿易・為替の自由化について

日本国際連合協会京都本部
『国連京都』第76号

1960年3月

シンポジウム「高度成長政策の矛盾と
展開」

経済セミナー 第86号

1963年8月

日本映画はどこへ

『産経新聞』

1964年3月29日

ポンド切り下げの問題点(講演)

京都大学経済学部学生会
『学生論叢』第11号

1968年2月

ポンド危機からドルの危機へーポンド切下げの帰結ー	『香川大学新聞』	1968年2月24日
ドル危機と円問題（講演）	『京都民報』第455号	1971年9月12日
経済学の学び方	京都大学（新）『学園新聞』	1971年4月25日
シンポジウム「ニクソンショック後の日本とアジア」	経 済 評 論 第20巻第1号	1971年12月
シンポジウム「激動のなかの日本国家 独占資本主義」	経 済 第93号	1972年1月
私のすいせんする必読書	経済セミナー 第200号	1972年4月
松井清先生の思い出（島恭彦、田畑茂 二郎、山岡亮一編『道遙一松井清、 その軌跡』1981年刊、松井家私家本 に再録）	経 済 第107号	1973年3月
増補改訂版の刊行にあたって	松井清『世界経済入門（増補 改訂版）』有斐閣	1973年8月
英国における東洋研究について（経済 学会研究報告）	経済論叢 第118巻第1・2号	1976年8月
序に代えて	安秉珪『朝鮮社会の構造と日 本帝国主義』龍溪書舎	1977年10月
鈴木先生と私	ビブリア（天理図書館報）第 68号	1978年4月
三上正之教授を偲ぶ	大阪産業大学論集社会科学編 第50号	1979年1月
まえがき	京都大学経済学部『河上肇文 庫目録』	1979年3月
国際通貨と円高問題（講演）	阪南大学産業経済研究所報第 6号	1979年3月
明治末期の物価騰貴ー戸田海市と河上 肇の諸説をめぐって（経済学会研究 報告）	経 済 論 叢 第125巻第3号	1980年3月
ロンドンの古本屋	京都古書研究会『京古本や往 来』第11号	1981年1月
平岡先生の思い出	『秋の陽だまり』（平岡謹之 助教授追悼文集、平岡家私家 本）	1981年10月
『金ト信用ト物価』前後	『河上肇全集第6巻』月報9, 岩波書店	1982年9月
ボクの覚書(1)ー敗戦前後	『一一会会報』No. 1	1982年12月
半世紀前にあった自由通商運動	『サンケイ新聞』	1983年4月4日
古書カタログの効用	京都古書研究会『京古本や往 来』第20号	1983年4月

島先生の講義	『島恭彦著作集第2巻』月報、 有斐閣	1983年8月
ボクの覚書(2)——古本屋事始め	『一一会会報』No. 2	1984年2月
豊崎先生と奈良	経済論叢 第134巻第3/4号	1984年9月
ボクの覚書(3)——大学をでた頃	『一一会会報』No. 3	1985年2月
ボクの覚書(4)——福岡にて	『一一会会報』No. 4	1985年9月
ボクの覚書(5)——中国旅行覚え書	『一一会会報』No. 5	1987年2月
銅像がボクを呼んだ	経済 第275号	1987年3月
ボクの覚書(6)——リスボン的一天	『一一会会報』No. 6	1988年3月
面白さの秘密——経済学のすすめ	経済 第288号	1988年4月
瀧川総長の時代	『京都大学職員組合創立40周年 記念誌』	1988年8月
ボクの覚書(7)——はじめて書評した本	『一一会会報』No. 7	1989年3月